

ニュースレター

久しぶり マスク姿でにぎわう市

二〇二〇年九月、志津川西復興住宅集会所前にて小さなたがい市を開催。予定では春から町内六か所で開催するはずが、四月、初めての緊急事態宣言が発表され、イベントは軒並み自粛となり、これまで行われていた住民同士の交流が難しくなりました。

イベントの再開にあたり、出店者・自治会との事前の話し合いを行い、コロナ渦中での対策を講じました。会場入り口に設けた受付で、検温・手指の消毒、名簿の作成を行い、イベントは二時間に短縮しました。

来場者からは、「コロナで集会所に集まることができなくなった。久しぶりに会えて嬉しい」とご近所さんと再会を喜ぶ声が聞けました。



時間前から楽しみに集まった住民が受付に並んだ

協力する南三陸町協会の佐藤さんは、「今年は三か所しかできなかった。行けなかった所の住民さんから来てほしいという声を聞く。また開催できたらいい」と話した。

たがいのみっちゃん hoshiko



①たがい市でひと休憩していく男性陣、②最終日、出店者で記念撮影、③戸倉小学校1年生のご訪問④掘り出しものを見つけようと、フリマは大人気



阿部吉夫さん
趣味：釣り

買物する場、楽しみは必要だ。みんなの顔を見ると嬉しいんだよ。怖がって部屋でテレビ観てばかりとするとより出た方がいい。



須藤くに子さん
趣味：ペン習字

催しがあったら行こうと思う。ほっとバンクにも参加して、行けば、誰かに会えるので楽しいです。

たがい市に来ると、会ってなかった人と会えたり、やっぱり楽しい！



佐藤和枝さん
趣味：縫い物

こんな人たちが参加しています！
ほっとバンクのメンバーが大活躍

南三陸町社会福祉協議会が運営している住民ボランティア制度「ほっとバンク」のメンバーが、ご近所さんたちを明るく笑顔で迎え、受付やフリマコーナーのおでっとして加わりました。

2021年の予定

4月16日(金) 結の里
 5月21日(金) 志津川中央行政区集会所前
 6月18日(金) 志津川西復興住宅第2集会所
 (田尻畑)
 7月16日(金) 名足集会所前
 9月17日(金) 沖田集会所前
 10月15日(金) 伊里前復興住宅集会所前
 11月5日(金) 未定

各回午前10時～午後12時まで 雨天中止

※新型コロナウイルス感染症拡大により、催行の延期
 または中止をさせて頂く場合があります。

出店者 & 運営サポーター 募集しています

一緒に「小さなたがい市」を盛り上げて、楽しみませんか？

「手作りの小物を販売したい」、「畑の野菜を販売したい」、「加工場で作った食品を販売したい」など、ご自身や仲間で作っているものを販売したい方、「出張マッサージできます」などサービス業で出店して下さる方、さらに、設営や片づけなど運営サポートの面でおでてをして下さる方などを募集しています。

お申込み・お問い合わせはどうぞ、

下記のウィメンズアイまで。

※有料の場合、出店料500円

※飲食関連の出店は、必ずご自身で保健所の許可を取得してください。

《お知らせ》

小さなたがい市は、この春から出店者で構成する実行委員会運営していくことになりました。地域内の小さな商いやモノづくりをする人、地域で活動する団体が協力してやっていきますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

発行: 特定非営利活動法人ウィメンズアイ
 (「ウィ」と呼んでください)

「女性が自らを活かし元気に活躍する」を目指し、女性たちの活動を応援、女性のしごと談話の開設、各種講座や教室、ひころマルシェの事務局などを行っています。



〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町
 入谷字山の神平10-1
 電話: 0226-25-9517
 HP: <http://womens-eye.net/>
 E-mail: info@womens-eye.net

出店者紹介

縫い物工房みとべ (三浦幸子さん)

水戸部地区の高台に小さな工房を構え、以前の持ち主が大切に保管されてきた帯や、端正な着物を日常使いのバックや小物、服に変身させています。
 イベント出店でお客さまの接客をするのは大好きだけど、震災前縫い物もしたことがなかった三浦さんを支えるのは、お友達と91歳になるお母さん。



志高モアイサークル

志津川高等学校情報ビジネス科の生徒たちによる南三陸町のモアイを全国に発信している団体です。モアイの缶バッジやモアイかるた等のモアイグッズの企画・制作、販売をしています。「たがい市」では、缶バッジ体験コーナーや黒ひげ危機一髪ゲームなどでイベントを盛り上げてくれました。



短歌と川柳

秋高し 校舎と団地を包む歓声(こゑ)
 世代を超えたたがい市と言ふ

清美

たがい市買っても欲しい嫁と婿

阿部 長記

たがい市昔鍬くわ(鎌)かま 今フリマ

阿部 とき子

口紅をマスク使用で節約し
 コロナ禍でマスクした顔人ちがい

瑠依

テレビに向かい声かけ踊る 自粛生活

矢作 利三

編集後記

コロナ禍において、全国で移動販売車やキッチンカーが注目されているそうです。「あなたの暮らす地域へ」を合言葉に二年前に始めた小さなたがい市は、この時代に相応する形態なのかもしれませんね。
 「モノ、お金、優しい気持ち」が、地域でぐるぐるめぐる」外に依存しすぎて弱っていく地域経済を、ひとりひとりの消費行動で変えていき、地域を元気にできたらと思っています。(栗林)

